

「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」植樹祭

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所



開会式の様子

当日は、ガールスカウトから64名、丸和建材社から約70名、林木育種センターから5名、当所から5名が参加しました。

開会式では、各代表者からの挨拶に続き、ガールスカウトから丸和建材社、林木育種センター、千葉森林管理事務所へ今回の植樹祭に向けデザインされた手ぬぐいのプレゼントがありました。



植付作業の様子

裸苗とコンテナ苗で提供されていました。

事前に丸和建材社により地拵え、シカ柵の設置等が行われており、植栽をスムーズに行うことができました。

森林総合研究所林木育種センター、ガールスカウト千葉市協議会及び有限会社丸和建材社の3者が4月26日に締結した協定により、モデルプロジェクトの森「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」植樹祭を君津市の戸崎国有林内で開催しました。早生樹の植栽は2回に分けて行われる予定で、今回は5月22日（土）に1回目が行われ、2回目は令和4年春頃に実施予定とされています。



ガールスカウトからの手ぬぐいのプレゼント

た。作業を始める前に苗木の扱い方や植え方などの注意点の説明を林木育種センターから受けた後、それぞれ植樹を行いました。

今回は生長が早い「早生樹（コウヨウザン、センダン、ユリノキ、キハダ、チャンチン）」を845本植栽し、低コスト・短期間で成長が見込める「早生樹の森」を造成します。日本にはあまり馴染みのない樹種もありますが、林木育種センターがこれらの苗木をすべて準備しています。苗木は

当日は朝まで雨が降っていましたが、植樹祭の開始までには雨が上がり植樹を無事に楽しく終えることができました。

作業を終えた後の参加者からは、「また来るときどのくらい大きくなっているだろう」、「しっかり育てほしい」、「どうなるのか楽しみだ」などと、植えた木がどのように育つのかを期待する声を多く聞きました。

今回の取組を機会に森林の持つ公益的機能の発揮や森林・林業・環境に多くの関係者が関心を持ってもらえるようこれからも取り組んでまいります。



植付作業の様子